

第 14 回ジャパンフラッグハントカップ in 柏

大会ルール

一般社団法人日本フラッグハント協会（「協会」）は、競技運営者として、第 14 回ジャパンフラッグハントカップ in 高槻のルールを以下のとおり定めます。

1 本ルールの目的

本ルールは、フラッグハント競技規則及び日本フラッグハント協会フラッグハント公式競技会細則に基づき、第 14 回ジャパンフラッグハントカップ in 柏（**本大会**）の実施に必要な事項を定めます。

2 タイムスケジュール

- (1) 本大会のタイムスケジュール（ゲームプレーの開始時間、集合時間を含む各チームの行動予定）は、別途協会が定め参加者に周知します。
- (2) タイムスケジュールは目安であり、状況に応じて進行が前後することがあります。
- (3) タイムスケジュールで定めた競技時間の間、参加者は、呼出に直ちに응じられるよう、競技フィールドの外周付近で待機してください。ただし、同一チームの参加者が競技フィールド外周付近で複数人待機しており、これらの者を通じて連絡を取ることが可能である参加者は、一時的に競技フィールドから離れることができます。
- (4) 審判がゲームを進行します。参加者が呼出に응じない場合、審判は、呼出に응じない参加者を除いてプレーすることを命じることができます。また、参加チームが呼出に응じない場合、審判は、呼出に응じないチームの不戦敗を宣言することができます。

3 チーム数及び競技者

- (1) 本大会の参加チーム数は 10 を上限とし、各チームに登録できる参加者は 6 名又は 7 名とします。ゲームにできる参加者は、6 名を上限とします。

- (1a) ゲームに参加しない参加者は、ゲームの間、他のプレイヤーと同様に装備品を着用した上で、フィールド外の指定された領域で、指定されたビブスを着用して待機する必要があります。ゲームに参加しない参加者は、ゲーム中の参加者に情報を伝達することはできません。
- (1b) 参加チームは、ゲームに参加する参加者を、ゲーム毎に変更することができます。
- (2) 参加チームは、参加者のうち 3 名以上が 2023 年から 1 回以上フラッグハントに参加した者で構成される必要があります。
- (3) 中学生以下の者が参加する場合は、原則として、保護者も本大会にご同席ください。
- (4) 保護者が本大会に同席されない場合、(3)に代わり、保護者は別紙様式の同意書（保護者の依頼を受けて引率する成年の引率者の名を含む。）の提出を行うとともに、当該引率者が本大会に同席する必要があります。

4 装備品

- (1) チームの識別のため、協会は、参加チームに 1 文字のアルファベットを割り当てるとともに、各チームに色の異なるビブスを配布します。
- (2) 参加者は、自らの所属するチームに配布されたビブスから 1 の番号を選択し、本大会を通じて同一の番号を着用します。
- (3) 参加者は、ビブスが見える服装で競技を行わなければなりません。
- (4) (2)(3)にかかわらず、参加チームは、配布されたビブスに代えて、次に掲げる条件に適合するシャツ（**ユニフォーム**）を着用することができます。ユニフォームを用いる場合、本大会を通じて同一のものを着用しなくてはなりません。ただし、審判は、ユニフォームを着用したチームが対戦相手のチームと明確に判別できないと判断した場合、当該ゲームにおいて、ユニフォームの上に配布されたビブス（着用しているユニフォームの数字と同一の番号のものに限る）を着用することを命じることができます。

<ユニフォーム条件>

- ① ユニフォームは、選手名・番号の表記を除き、チームの登録者を通じて同一の柄であること。
- ② 前面と背面が同一の色彩であり、白または黒のビブスと明確に判別できること。
- ③ 前面及び背面に 1 から 10 の間のいずれかの整数をアラビア数字で記載すること。前面の番号の高さは 10cm 以上であること。背面の番号の高さは 20cm

以上であり、背中中央に配置すること。

- ④ 選手名を加える場合は、背面の番号の上部、左右中央、横書き、背面の番号と同色、及び背面の番号の半分以下の文字の高さで配置すること。
 - ⑤ 反射材等を含む、反射率を向上する素材を用いてないこと。
 - ⑥ [フラッグハントの理念と原則](#)に反する表現が含まれないこと。
- (5) 参加者は、赤外線銃のヘッドセンサーの下に、帽子を着用しなくてはなりません。帽子にツバがある場合は、ツバのない場所を前面にして着用しなくてはなりません。

5 審判

- (1) 協会は、全てのゲームにおいて、協会スタッフが 1 名以上審判として参加することを確保します。協会スタッフが所属するチームは、協会の指示に従い、当該協会スタッフを審判として従事させなければなりません。
- (2) 参加チームは、(1)にかかわらず、協会の指示に従い、協会スタッフではないチームの参加者 1 名を、審判として従事させなければなりません。
- (3) 参加チームは、本大会前日までに、(2)の審判として従事する者の名を、最低 1 名、協会に提示する必要があります。ただし、協会が認めた場合は、この限りではありません。

6 優勝決定方法

概要

- (1) 予選及び決勝トーナメントにより、本大会の優勝を決します。

予選

- (2) 予選は、参加チームを Y リーグ及び X リーグに 2 分割し、各リーグ内の総当たりで行います。リーグの構成は、別途協会において定めます。
- (3) 予選の各ゲームにおいて以下の通り勝ち点を定めます。
予選は、3 ゲームを 1 まとまり（セッション）として進行します。挨拶は各セッションに一度ずつ実施します。ただし、各セッション中のゲームはいずれも別個のゲームとし、各ゲームの結果に応じて、以下の勝ち点を適用します。

<勝ち点>

- ① 勝利（自チームがフラッグハント勝利した場合又は相手チームが③の反則負

- けとなった場合)： 勝ち点 3
- ② 引き分け (①が成立せず、制限時間が経過した場合)： 各チーム勝ち点 1
 - ③ 反則負け (フライングを 2 回したことにより敗北した場合及びチームが呼出に
応じず審判が不戦敗を宣言した場合)： 勝ち点-2
 - ④ ①～③に該当しないチーム： 勝ち点 0
- (4) 予選では、以下の①から④に至る方法で順位を決めます。
- ① 勝ち点の多い順
 - ② 勝ち点と同点の場合には、フラッグハントによる勝利が多い順
 - ③ ①～②によっても同順位のチームが生じる場合は、同順位のチーム間で行ったゲームのみを参照して、①～②の方法で順位を決する。
 - ④ ③の方法で順位を決せないチームが生じる場合は、順位を決せないチームの間で③の方法を再度実施し、これを繰り返す
 - ⑤ 決勝トーナメントに進出するチームを決するにあたり、①～④によっても同順位のチームが生じる場合は、同順位のチームによるくじ引き (またはそれと同等の偶然による方法)

決勝トーナメント

- (5) 予選においては、各リーグの上位 2 チーム (合計 4 チーム) が決勝トーナメントに進出します。トーナメントの構成は、別途協会において定めます。
- (6) 決勝トーナメントにおいては、各セッション最大で 3 ゲームを行い、同一セッション中先に 2 勝したチームがトーナメントを勝ち上がります (決勝戦の場合は優勝。以下同じ。)。ただし、不戦敗のチームが生じた場合には、即時相手方チームの勝ち上がりとします。
- (7) 3 ゲームを行ったにもかかわらず、2 勝したチームが生じない場合は、当該 3 ゲームにつき(3)の方法で勝ち点を計算し、それが多いチームが勝ち上がります。
- (8) 決勝戦を除く決勝トーナメントにおいて、(7)によっても勝敗を決することができない場合は、予選の順位が上位のチームが勝ち上がります。予選の順位が同順位であるときは、コイントスで勝ち上がりを決めます。
- (9) 決勝戦において、(7)によっても勝敗を決することができない場合は、勝ち点で勝るチームが生じるまでゲームを繰り返し、先に勝利した側が優勝とします。

7 表彰

本大会においては、以下の通り、チームまたは競技者を表彰します。

- ① 決勝トーナメントの決勝戦で勝利したチームを優勝とします。
- ② 決勝戦で敗北したチームを準優勝とします。
- ③ 予選、決勝トーナメント及びエキシビジョンマッチ（あれば）を通して最もフラッグハントが多かった競技者を、MVP とします。同数の場合、本大会における全ての行動を評価対象として、主審らが選定します

8 開催中止等の連絡

災害・悪天候等の事情により、本大会の開催が困難となった場合は、前日午後8時を目処に中止を含む対応の内容を、参加登録をされた方にメールでご連絡するとともに、当協会ウェブサイト（<https://www.flaghunt.jp>）で告知します。

以上

同意書

(ふりがな) 参加者の名前		(ふりがな) 保護者の名前	
参加者の生年月日		保護者の続柄	
引率者の名			
住所 (異なる場合は両方の住所)			
保護者の電話番号 (直ちに連絡がつく携帯電話等)			

※上記事項はワープロ等で記入して差し支えありません。これに加え、末尾の署名欄に署名願います。

私は、上記参加者が第 14 回ジャパンフラッグハントカップ in 高槻（**本大会**）に参加することを同意し、以下の事項を了解します。

- 本大会はスポーツ競技イベントであり、参加者は他の参加者と対等の競技者として参加すること。参加者は、イベントに参加可能な心身の状態にあること。
- 万が一の場合、参加者はケガをする恐れがあること。当協会の故意または重過失が認められる場合を除き、ケガに関して当協会に損害賠償等を請求しないこと。
- 保護者は、引率者に参加者の引率を依頼し、引率者はそれに同意していること。
- イベント参加に先立ち、参加者に、大会のルールや、引率者・協会の指示に従うよう必要な指導を行うこと。
- 当協会のプライバシーポリシー (<https://flaghunt.jp/about/privacypolicy/>) に従い、本大会中の写真や動画が使用される可能性があること。
- **引率者は、イベントの期間中、参加者に対し、保護者が通常行うものと同程度の保護・監督を行うものとします。協会は、保護者または引率者による監督を前提に、イベント主催者として安全な競技実施のための措置を実施してまいります。**

(保護者署名欄)
署名日 : 名前 :